

議会だより とくのしま



第 192 号

平成 30 年 8 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



新体制の徳之島町議会

第 2 回定例会

6月5日～8日

☆ 審議された案件と議決結果・議会の動き

8

☆ 一般質問（8氏登壇）

9～13

☆ 議会研修レポート・奄美群島市町村議会議員大会

14～15

☆ 新議会体制・議会活動スナップ・編集後記

16

いっばん質問

6月定例会には、8人の議員が登壇し、農業振興、住宅・道路整備、北部振興、世界自然遺産登録、子育て支援など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

受精卵センターを 闘牛の増産に活用



富田 良一 議員

価格暴落の要因 と対策

問 闘牛文化の発展のため、受精卵センターを闘牛の増産にも活用してはどうか。

答 東農林水産課長
今年は市場に於いて、バレイシヨの集荷量が多く価格が暴落したと考えられる。今後、バレイシヨ産地として、JA、県、各関係機関とより一層連携をとり、農家経営の安定化を図っていききたい。

黒毛和牛の増産 が目的

答 東農林水産課長
本施設では、黒毛和牛の増産を目的としているため、現在のところ予定はしていない。

ジャガイモ価格 暴落の原因と今 後の対策

問 今年の価格暴落はなぜ起きたか、今後の対策として、第三者に委託してでも原因究明のため追跡調査すべきだと思ふが。



受精卵センター落成式

畑総新規事業 の今後



是枝 孝太郎 議員

最善な方法を 検討

問 井之川地区畑総新規事業の推進と今後のスケジュールについて伺う。

答 高城学校教育課長
下久志教職員住宅は、老朽化により、現在、使用していない。今後は、下久志分校の有効活用を含め、地区住民の意見を聴き最善な方法をとるよう検討したい。

畑総新規事業実 現に向けて

答 福耕地課長
現在、地権者調査は概ね確定している。今後は、島内外の地権者の皆様に、井之川畑総新規事業実現の為、本事業への賛同となる施工同意をお願いしていきたい。

教職員住宅の 活用を

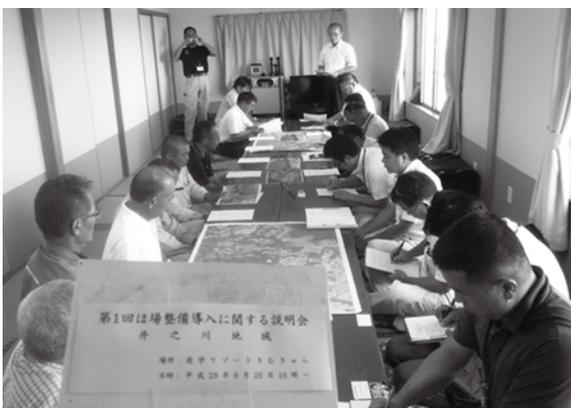
問 学校教育課管理の下久志教職員住宅の今後の活用について伺う。

住宅整備を 確実に

問 住宅整備がなされていない地区(下久志)の今後の対応と計画について伺う。

要望等を踏まえ 検討

答 亀澤建設課長
徳之島町公営住宅等※長寿命化計画に下久志地区の公営住宅整備は位置づけられておらず、今後住民からの要望等をふまえ、執行部・財政当局と協議し、住宅建設を検討したい。



井之川畑総新規事業説明会

長寿命化計画
修繕、改善、長
寿命化のための
維持管理などに
係る計画のこと。

その他の質問
○農道整備につ
いて

町制施行60周年の年に



竹山 成浩 議員

地域活性化のため、雇用の充実や様々なイベント等に行政、議会、民間が知恵を出し合って構築していかないか。

問 旧亀津町と東天城村が合併して60年目の今年、どのような記念行事等が計画されているか。

答 向井企画課長 10月20日に記念式典及び祝賀会を計画している。また、9月2日に北部地区の各種団体を中心とした東天城まつり（仮称）を計画している。今後の行事については、随時広報紙等でお知らせをする。

60周年記念事業

向井企画課長

北部地区活性化に向けて

問 北部地区においては少子高齢化による人口減少が問題となってい

前向きに検討

スとしても魅力ある地になると思うが、町としてどう考えるか。

前向きに検討

答 幸田地域営業課長

これだけの桜並木は島内にも数少ないことから、名勝として地域の活性化にも役立つものと思われる。地権者のご理解とご協力を得られれば、関係者と協議をしながら、看板等の設置を前向きに検討したい。

北部地区活性化策

答 向井企画課長 今年度より北部のまちづくり推進策として、地域おこし協力隊を1名配置し、都市農村交流を中心とした北部地区活性化を計画している。また、今年度井之川地区をモデルとした民泊整備事業を開始するが、今後は、北部地区にも波及させていきたい。

桜並木は観光の目玉

問 母間の大当集落の桜並木は、全島から見物客が訪れる。後々は※ウナンギヤナシ、※線刻画等を含めた観光トレイルコー



大当集落の美しい桜並木

ウナンギヤナシ 母間反川集落に伝わる大うなぎ（神様うなぎ）の伝説のことで、昔、集落で大火事があり大うなぎが川から水を尻尾ではね飛ばし、火が消えたと伝えられている。
線刻画
岩や壁に線を刻み込んで描いた絵のこと。

その他の質問

○世界自然遺産について
○屋内運動場について

道路の白線 早急に対応を

幸 千恵子 議員



問 県道・町道・農道で白線が消えて不鮮明なところが多い。対応が必要な場所はどこか。県道も町道も町で対応可能か。交通安全上重要であり町内全域早急な対応を実施してほしい。今年度の予定は。

優先順位にて対応

答 亀澤建設課長 県・町では、道路パ

トロール等において把握に努めており、予算の範囲内で優先順位を決定し作業を行っている。今年度計画は、亀津中央線を予定。



白線が消えかかった亀徳県道の横断歩道

自然遺産登録実現への対応は

問 自然遺産登録延期について各界の意見は、いずれも「登録には不十分であった」と述べている。登録の意義と実現までの課題、登録後の保護活動内容は、観光地の整備計画と外来種対策は。

自然遺産登録の課題等

向井企画課長

答 自然遺産は、人類共通のかけがえのない財産として将来の世代に引き継いでいくべきものである。今後はノネコや外来種対策を推進し、同時にエコツアーや外国人への対応についても、認定ガイドや地域通訳士の育成に取り組んでいく。

年次的に進める

幸田地域営業課長

答 観光地の整備については、「徳之島町観光施設整備事業基本計画」をベースに、町の財政状況を鑑みながら、国・県の補助事業を申請し、年次的に進める。

給食費助成の実施を提案

問

以前、「給食のない夏休み体重が減る子がいる」と子どもの貧困白書で報じられた。町内のネグレクト（育児放棄）の状況は、様々な親の問題は子ども

もの責任ではない。給食費助成の実施を提案する。

給食費の一部は助成

高城学校教育課長

答 子どもの体重が減る原因は、様々なものがあり、家庭での昼食の内容と学校給食の違いによることもある。また、給食費助成は、既にパン・ミルク・米飯代を補助金として提供しており、更なる補助及び無料化は、現在考えていない。

その他の質問

○徳之島町機能性植物加工センターについて
○徳之島町受精卵センターについて

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。【徳之島町議会事務局】
☎ 82-1111 (内線 331 番)

クロウサギ保護のために

宮原 順子 議員



問 轟木く松原線は夜になると多くのアマミノクロウサギが見られるが、輪禍を防ぐため夜間の時間帯だけでもスピード規制を県に要望できないか。

ロードキル対策

向井企画課長

答 本町ではクロウサギのロードキル対策として、



クロウサギ注意喚起看板

事故が発生した場所周辺に、注意看板を6基設置した。また、今後も自然保護推進委員の協力を得て、看板の移動や、追加設置をおこなっていききたい。

番号札の発行で来客対応

問 住民課窓口対応について、年度替わりの窓口が混む時期は、町民の方から番号札があれば安心できるとの声が聞かれる。混雑時には番号札の発行をし、来客対応ができないか。

来年度から対応

政田住民生活課長

答 例年、年度末、年度当初は、転入・転出等の手続きが集中し、窓口に来られた方に、ご迷惑をおかけして、申し訳なく思っている。来年度以降は、番号札・受付箱等を準備し、しっかりと対応していききたい。

書籍購入費見直し

問 町立図書館は、貸出冊数も県内でここ10年間3位〜5位とすばらしく、運営についても県や文部科学大臣からの表彰を受けている。しかし、1人あたりの年間書籍購入費は低いため、予算の増額ができないか。

基金の活用を

深川社会教育課長

答 平成29、30年度はふるさと基金を活用し移動図書館車、図書館通帳システムを導入した。来年度は、書籍購入費に基金の活用ができるよう検討し

定例会の様子をインターネットでご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。
(※インターネット回線の状況により繋がりにくい場合があります。)

ていきたい。

若い世代へ就労・定住対策を

植木 厚吉 議員



実践的な営農支援

答 東農林水産課長
今年度、花徳地区に整備する営農研修ハウスにて、2名の就農研修生を受け入れ、気象条件に左右されにくい施設園芸農家を育成し研修終了後は南原サポートハウスにて、より実践的な営農展開を支援していく。

問

地域の活力源は、子育てで最中の働き盛りの世代である。しかしながら、希望の就職や、農業を始めるにもゼロからのスタートで難しい現状がある。また、地元集落への定住を望んでも住宅問題などの課題がある。町としての対策を伺う。

地域の定住促進策

答 向井企画課長

定住促進対策として、民間の空き家を借り上げ、改修後移住希望者へ貸し出す「移住定住促進事業」を実施している。また、空き家の利活用についても北部地区で調査した空き家を、今年度中に空き家バンク登録をしたい。

持続可能なイベントを

瀬川支所長

答 地域活性化や、観光PRの観点からも、官民一体となった企画が必要ではあるが、各集落活動の中心である青年団、また民間が主導するイベントを支援することで、持続可能な企画の実現に繋がればと考える。

問 町内の観光地は、ビーチや景勝地、観光施設など、数多くある。その様な場所は、大切な町民の財産でもあるので、周辺集落、青年団等と連携した環境整備活動が必要ではないか。

答 本年度、景観行政・環境保全促進助成事業を実施し、町内において美化活動や環境保全活動に取り組み団体を募集し、必要な物品等の購入助成を行う。金額は上限5万円程度で5団体を予定している。青年団も是非この事業を活用してほしい。

青年団への支援

答 深川社会教育課長
町青年連絡協議会及び各地区青年団からイベント等の提案があった場合は、花徳支所及び関係機関と協議を行い、持続可能なのか検討し、青年団が主体となつて運営できるものについては、支援等を行ってきたい。

町と地元と連携した定着イベントを

問 今までも、民間主体の大規模イベントもあつたが、継続定着させるのは難しい。地域活性化や、観光PRの観点からも、官民連携したイベント企画が必要ではないか。また各集落活動の中心である青年団へ、活動支援など出来ないか。

集落と連携した観光地の環境整備を

答 向井企画課長
本年度、景観行政・環境保全促進助成事業を実施し、町内において美化活動や環境保全活動に取り組み団体を募集し、必要な物品等の購入助成を行う。金額は上限5万円程度で5団体を予定している。青年団も是非この事業を活用してほしい。

青年団でのボランティア清掃

問 町内の観光地は、ビーチや景勝地、観光施設など、数多くある。その様な場所は、大切な町民の財産でもあるので、周辺集落、青年団等と連携した環境整備活動が必要ではないか。



青年団でのボランティア清掃

防犯灯のLED化は急ぐべき

広田 勉 議員



問 蛍光灯からLEDに替えると一灯で電気が月137円安くなる。早急に町内の防犯灯をLEDにすべきでは。

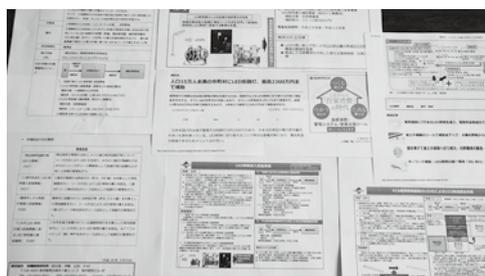
答 岡元総務課長
防犯灯の設置等については、これまで毎年50万円〜70万円の予算の範囲内で町内全域の要望のある集落に配分していた。今後は、新たな取り組みとして、集落活性化補助金約390万円を集落ごとに配分してあるので、この中で対応願いたい。

集落活性化補助金の中で対応を

問 特別養護老人ホームのベツド増を

特別養護老人ホームのベツド増を

問 特別養護老人ホームのベツド増を
特別養護老人ホームのベツド増を
特別養護老人ホームのベツド増を
特別養護老人ホームのベツド増を



いろいろあるLEDの補助金

増床は必要でないと思われる

答 豊島介護福祉課長
高齢者人口は今後現状維持で推移する見込みで、特老、老人保健施設等への入所数も近年減少傾向にある。特養の増床により、有料老人ホームやグループホームの運営が困難になることも考えられ、これ以上の増床は必要ないものと思われる。

花徳の町営住宅の概要と今後の学校再編は

問 花徳住宅の詳細な概要と基準は。それに伴う北部振興策の学校再編成のスケジュールはどのようになっているのか。

子育て世代住宅を建設予定

答 亀澤建設課長
若い子育て世代のニーズに対応した住宅で、鉄筋コンクリート2階建て2棟8戸、駐車場・交流広場・遊具施設等を社会資本

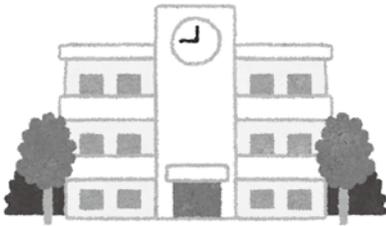
整備交付金にて平成30～31年度に建設予定。

検討委員会で協議中

答 高城学校教育課長
本町の学校再編は、町全体を考えたもので、町幼小中学校再編計画委員会からの答申を基に、現在再編検討委員会で協議中である。今後は、その答申で再編推進委員会より、校区等への説明や条例改正などの業務を進めていくことになる。

その他の質問

- 町誌編纂について
- 緊急防災無線について
- 施策検討委員会について



なぜやらぬ

子育て支援

勇元 勝雄 議員



問 県下43市町村のうち40市町村は子ども医療費の無料等を実施し、うち4市町村では給食費も無料にしている。また、出産祝い金も支給している市町村もある。このような他の市町村の子育て支援の現状をどのように考えるか伺う。

答 高岡町長
生活保護者、非課税世帯の方については、無料化している。全国的な統計をみると、子ども医療費について全員が無料化となると、医療費が増大、特に通院医療費が増える。結果と

将来を見据えた子育て支援

将来を見据えると、子ども医療費が増大、特に通院医療費が増える。結果として保険税が上がってしまうということになる。町としては極力保険税の増額はするべきでないと考え、将来を見据えると、子ども達には生きる力、健康な体づくり等に予算をかける子育て支援を行うべきと考え

あまりにも唐突

問 役場庁舎の建替を何年前から考えていたのか、現地建替案はあまりにも唐突である。建替については、協議会を作った際には、協議会をやって災害対応を考え場所、費用規模等、将来に禍根を残さないように多くの町民の意見を取り入れるべきではないか伺う。

答 岡元総務課長
阪神淡路大震災・東

町民の理解が第一義である

日本大震災・熊本地震等を踏まえて、本庁舎建設により有利な補助・起債事業がないか模索していた。旧耐震基準で建設された本庁舎は、耐震性や緊急避難ビルの役割・バリアフリー化の機能性に課題がある。今後は、議会や各種団体の代表者・有識者で構成される庁舎建設検討委員会を設置する。また、住民説明会等を行い、様々な意見や要望を反映させて、町民の理解を得たうえで、きめ細やかな行政サービスと多くの人々が利用しやすい防災拠点機能を備えた、最小の町費で最大の機能を発揮できる新庁舎を目指す。庁舎を移転すると多大な予算が必要になる。

いつになる東中の建替

問 東天城中学校の建替計画は当初計画から何年遅れているのか、役場庁舎の建替計画によって、完成は何年後になるか伺う。

答 高城学校教育課長
東天城中学校校舎建替は、当初計画から、概ね10年程度の遅れとなっている。また、現在学校再編検討委員会でも協議中で、その答申後に各建設事業計画の調整を図ることとなることから、新庁舎の建設後で見通しはつかない。

再編検討委員会 答申後に

- 観光について
- 防災について
- 丹向川について
- みのり館について
- 受精卵センターについて
- 母間港について



建替が待たれる東中

議員研修レポート

5月9日に鹿児島市で議会議員研修会が行われました。その内容を各常任委員がレポートします。

演題 「女性活躍の成否のカギ」

講師 宮之原 明子 氏

【講師略歴】昭和49年鹿児島市生まれ。短大卒業後20歳で(株)清友の専務取締役に就く。また美人時計鹿児島版の運営会社として平成22年10月に設立した(株)ミエルカの代表取締役社長も務める一児の母。講演会講師や司会業などでも幅広く活躍中。

魅力的な人はどんな人
↓
周囲の人から好かれる人。

いつも笑顔で心がける
↓
できそうで出来ない。
↓
意識的にすることが大事。
(目じりを下げ、口角を上げる)
↓
笑顔の人はエネルギーが高い

楽しいから笑うのではなく
笑っているから楽しい

会社の公害
↓
ブスツとしている人

人間は一日6万語の言葉を口に出したり頭に思い描いている。

人を元気にしたり明るくする言葉

「ありがとう」「感謝してます」「楽しい」など
プラスの言葉を言う人は成功する。

やる気がなくなる言葉

「もう駄目かもしれない」「疲れた」「無理」「嫌だ」など
マイナスの言葉を言う人は成功しない。
マイナスの言葉は無意識に出る。

言葉は必ず思考に連動し、
行動に連動する。

人は生きていく上で自分自身が魅力ある人にならないといけない。魅力ある会社・魅力ある街に魅力のある人が集まる。元気な街に元気な人が集まってくる。元気で魅力のある町を目指し一人一人が努力していくことが大切だと思います。



市町村議会議員研修会

総務文教厚生委員 宮之原 順子

「想定を超える災害にどう向き合えばいいのか
〜危機に主体的に備えるために〜」

講師 東京大学大学院 特任教授 片田 敏孝 氏

平成30年5月9日(水)
研修会の一環として講演
会が鹿児島市で行われま
した。

講師の片田氏は、災害
への危機管理対応、災害
情報伝達、防災教育、避
難誘導のあり方等につい
て研究するとともに、地
域での防災活動を全国各
地で展開されています。

特に釜石市においては、
児童・生徒を中心とした
津波防災教育にご尽力さ
れたことで有名です。

講演では、災害に向か
い合う姿勢・住民の主体
性、また防災教育の意義
について、これまでに起
こった東日本大震災や広
島土砂災害・九州北部豪
雨からの経験・教訓をも
とに悲劇を繰り返さない
ためにも私たちが取り組
んでいかななくてはなら
ない課題等を説いていた
きました。

近年発生する災害は、
圧倒的に気象災害が多く、
原因は明確で地球温暖化
です。温暖化による海水
温の上昇により、あちら
こちらでゲリラ豪雨と呼
ばれる大雨が発生してい
ます。
私たちが暮らす徳之島
で気象災害といえば、一
番に台風による災害が最
も多いのではないでしょ
うか。ここ数年は多大な
人的被害は出ていなくとも
地球規模の環境変化を
考えると想定を超える災
害はすぐ近くに迫ってい
るかもしれません。
防災については、さま
ざまな取り組みを展開し
ていますが、このままで
いいのか、改めて地域の
防災力とは何かを考え、
早急に本町の防災拠点に
なる庁舎の整備について
も被災地視察等を重ね検
証対応していかなければ

ならないと痛感しました。また、南海トラフがすぐ近くにある奄美海域においては、東日本大震災を受けた地域の対応や教訓を共有することも必要だと感じました。

防災を考える今、すべてを行政任せにするのではなく、地域の方々をリードする立場にある私たちが、地域をどうつくるか、どのような姿勢で災害に向き合えばよいのかなど、主体性をもった地域づくりをしていくことが大事であること、そして、この主体性こそが生き抜く力、防災力に繋がるということであります。

この研修をきっかけに、今後起こりうる想定外の自然災害に対応できる行政の在り方と地域防災力の向上に努めたいと思います。

経済建設委員

徳田 進

第61回 奄美群島市町村議会議員大会

第61回奄美群島市町村議会議員大会が、5月16日に本町で開催されました。

当日は、徳之島農協2階ホールで郡内12市町村から議会議員、市町村長のほか、奄美群島選出の永井章

義、禧久伸一郎、向井俊夫 県議会議員が出席されました。大会の中で、会長あいさつ、自治功労者表彰（議員8人）、来賓祝辞、祝電披露、県政報告が行われた後議事に入り、各市町村（5

ブロック）や議長会から提出された議題8件は、県議の皆さんからそれぞれの分野で助言を受け、全て採択となりました。

大会後は、元農業技術研究機構中央農業総合研究センター室長 守屋成一氏から「アリモドキゾウムシ・イモゾウムシの昨日・今日・明日」と題して講演が行われました。

徳之島三方町の提出議題は次のとおりです。

○平土野港多機能港湾新設整備について

■その他の提出議題

○乳幼児医療費助成事業・ひとり親家庭医療費助成事業・重度心身障害者（児）医療費助成事業の窓口無料化について（和泊町・知名町・与論町）

○主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久〜戸田間トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）
○国道58号おがみ山バイパスの整備推進について（奄美市）
○喜界空港の整備について（龍郷町・喜界町）
○奄美群島における海岸線の油の漂着について（議長会）
○さとうきびの販売価格・国の政策支援価格の引上げ、基準糖度・基準糖度帯の引下げについて（議長会）
○平成31年度以降の奄美群島振興開発特別措置法の延長について（議長会）



趣旨宣言案を朗読する池山議長

第61回奄美群島市町村議会議員大会



研修会の様子

次回の定例会は9月です

皆さんで議会を傍聴してみませんか。
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 82-1111（内線331番）

新しい議会構成決まる

議会改選後の初議会を4月23日に開き、正・副議長や各常任委員会構成などを決めました。

常任委員会構成

※総務文教厚生委員会

- 委員長 行沢 弘栄
- 副委員長 富田 良一
- 委員 竹山 成浩
- 宮之原順子
- 大沢 章宏
- 住田 克幸
- 是枝孝太郎
- 池山 富良

各種議員

※三カ町議会議員連絡協議会議員

- 池山 富良
- 是枝孝太郎
- 徳田 進
- 行沢 弘栄

※議会だより編集委員会

- 委員長 宮之原順子
- 副委員長 富田 良一
- 委員 松田 太志
- 竹山 成浩
- 植木 厚吉

各種組合議員

※徳之島地区消防組合議員(植木厚吉 富田良一 福岡兵八郎)

※徳之島地区介護保険組合議員(宮之原順子 勇元勝雄 幸千恵子)

※徳之島愛ランド広域連合議員(竹山成浩 木原良治 大沢章宏 住田克幸)

※監査委員(議会選出)

- 住田 克幸



議長 池山 富良



副議長 是枝 孝太郎

議会運営委員会

- 委員長 是枝孝太郎
- 副委員長 行沢 弘栄
- 委員 徳田 進
- 富田 良一
- 松田 太志

議会活動スナップ



徳之島三カ町議会議員連絡協議会 ボランティア清掃 (6月25日：天城町B&G入口)

編集後記

今年は皆様が期待していた世界自然遺産登録が延期になり、とても残念です。環境省は、今後の方針について「IUCN(国際自然保護連合)にアドバイスを求め、来年2月までに推薦書を再提出し、確実な登録を目指す」と表明。IUCNが現在の候補地との一体的な保全を求めている、沖縄島北部の米軍北部訓練所跡地(約4千ヘクタール)を加えた推薦書を再提出する方針を示した。早ければ2020年の登録を

目標としている。2年後間違いなく世界自然遺産登録になって欲しいものです。私も編集委員になりました。やっと慣れてきましたが、短い文の中で皆様に解りやすくお伝えしたいと頑張っていますが、なかなか簡単にいきません。

今年の6月から新人議員が2人と他3人の議員で新しく編集委員会がスタートしました。議員1期、2期生の5人の若手議員ですが、町民の皆様が解りやすく、見たくなるような議会だよりを発行していきたいと思えます。今後とも編集委員会をよろしく願います。

文責 富田 良一